



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第37号
2011年10月20日
編集兼発行人
藤森 好則

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



“記念艦「三笠」”

撮影者：小口 伊佐男
撮影日：平成 23 年 9 月 8 日
使用カメラ：CANON S90
シャッター速度：1/500 秒 絞り：5.6
ISO:80 レンズ焦点距離：60 mm
撮影余話：第 49 回研修会行事の見学の際に撮影した。「三笠」は明治 35 年に英国で建造された当時としては最新鋭の戦艦。日露戦争の日本海海戦での連合艦隊の旗艦として、東郷平八郎司令長官が乗艦して指揮をとったことで知られる。大正 15 年からは記念艦として保存・展示されている、当時に建造され現存する唯一の戦艦。「坂の上の雲」の時代に思いを馳せた一時であった。

リレー随筆 (37)

盆栽という大変な趣味

黒梅 弘嗣



盆栽を始めて 40 年になります。家を新築した時、お祝いに戴いた黒松がはじまりです。その後次々と集め、現在 200 鉢以上となりました。昭和 40 年代は、自宅を新築される方が沢山おられ、庭木や盆栽に関心があった時代です。工場内では園芸部が設立され、サツキの展示会や盆栽教室、春の祭典での即

売会などが、盛んに行われました。その園芸部のOBの方々は、今もしっかりと盆栽を育てておられます。良い盆栽を作るには永い年月と、木を育てる技能が必要です。小生の如く水遣りしかしていないのでは、盆栽の良否の差は大きいです。

そこで 5 年前、その遅れを取り戻そうと『先生』に指導を仰ぎ、新たな盆栽作りを始めました。その結果、少しは進歩しているようです。まず盆栽の樹形作りですが、これまでの自己流では良いものはできません。さすが『先生』は違います、素晴らしい樹形に変身させて貰えます。また色々な木の性質を教えて戴けます。

例えば山もみじですが、春から夏に向かって新しい小枝が沢山伸びます。今までは伸びれば切って樹形を整えていました。しかしこれは間違いです。この成長しようとしている時に剪定すると、樹はそれに負けまいと、次々と新しい芽を吹きます。するとその箇所は醜く太い枝となり、もみじの良さがなくなります。その場合、無理して切らないで秋の紅葉時期、樹の成長が止まりかけた時に切ることです。このように性質を知って剪定することなど、新しい知識を習得することができ、『師』を持つことの大切さがわかりました。

ところで盆栽にも流行があります。右上の 2 枚の写



五葉松の直幹盆栽



真柏の文人木盆栽

真を見てください。左側の写真は太い五葉松の直幹の盆栽です。根元が太く、堂々とした雰囲気を持っております。右側は真柏の文人木です。優しく癒しの雰囲気がある盆栽です。現在は右側の盆栽に高い評価が出ております。逞しく無骨な感じの樹形よりも、優しい美しい木が良いとされて来ております。中年女性の好みから『高倉健』から韓流スターの『ペ・ヨンジュン』に代わったように、草食系男子が好まれる時代になったようです。

ところで最近になって気づいたことがあります。盆栽には、毎日きちんと水遣りをしなければなりません。その水遣りに最近負担を感じてきております。その負担は、水遣り時の労力でなく、将来への不安からです。毎年春には沢山の鉢の植替えが必要です。盆栽は生き物ですから、手を抜いたら直ぐに枯れてしまいます。絵画や陶芸品などは放っておいても変わることはありません。これから先を考えると大変なものに手を出したなと思いはじめてきました。

よってこれからは、この盆栽の数を減らし、良いものをきちんと次の世代に引き継ぐ仕掛けを考えなければならないと思っております。このことは小生一人の悩みでなく盆栽愛好家の共通の悩みかも知れません。

奥の細道漫遊紀行

《深川から大垣までの紀行録をブログ並びにホームページへ》

横須賀 元也



奥の細道の句碑を辿ろうと思いついたのは平成十三年で六十八才の時だった。旅行が好きで毎年何回か車で主に甲信方面に行っていたが、そろそろ混み合う首都高速を通らずに、のんびり走れる「みちのくの旅」をメインにしようと思った。

そして、「みちのく」なら「奥の細道」と条件反射的に連想し、平成十三年秋に黒羽から白河、須賀川、福島まで辿ったのが最初である。

草加で江戸を振り返る芭蕉像



島まで辿ったのが最初である。翌年春に白石から登米まで、秋に平泉から山寺へ、その翌年には

最上川、出羽三山、酒田、象潟までと旅を繋いで行った。その間に奥の細道に関する本や藤原三代の歴史を調べたり、歌枕として詠まれた和歌を探したりしているうちにすっかり奥の細道にはまってしまった。

みちのくを離れても越後路、北陸路と奥の細道を追いつけ、また江戸深川から日光、那須方面にも足をのばし、句碑めぐりを始めてから5年後の平成十八年に結びの地、岐阜県大垣市まで辿ることになってしまったのである。

奥の細道には中・高校の教科書に出てくる有名な句が多くある。平泉での「夏草や 兵どもが夢の跡」、五月雨の降りのこしてや 光

堂、最上川、川下りでの五月雨をあつめて早し最上川、立石寺での「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」、越後路での「荒海や 佐渡によこたふ 天河」などは殆どの人に親しみのある句である。



立石寺の句碑「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」

奥の細道の旅をしているうちに、折角だから旅行記としてまとめようと思うようになった。しかし自分ひとりだけでは途中で挫折してしまいそうな気がして、ブログとして公開すれば励みになると考え、ニフテイのココロというブログに、平成十九年から「奥の細道漫遊紀行」の表題をつけて東京深川から千住、草加と奥の細道の順路に従って写真と紀行文をアップしていった。漫遊紀行としたのは



黒羽の句碑「行く春や 鳥啼(なき)魚の目は涙」

奥の細道との関連が無くても、その都度見聞したことも書こうと思つたからである。複数回訪れた所もある。黒羽にある満開のアジサイの花

の中にひっそりとたたずんでいた「行く春や 鳥啼(なき)魚の目は涙」の句碑に巡り合ったのは二回目に行つた時である。この句は奥の

細道に旅立つ時、千住で初めて詠んだ矢立て初めの句として知られている。むすびの地大垣も二度訪問した。ここには「蛤塚」という奥の細道の最後の句が刻まれた句碑がある。「蛤のふたみに別(わかれ)行秋ぞ」で、春に千住を出発して百四十日後大垣に着いたのは秋になつていたという感慨と、旅に終わりは無く今から伊勢の二見が浦に新たに旅立つのだという覚悟が詠み込まれた句である。芭蕉は大垣に二週間滞在した後伊勢の遷宮祭を見ようと旅立つのだが、その時詠んだ句で、漂泊の旅人を志した芭蕉の面目躍如たるものがある。その様なことを含めて、平成二十一年六月に江戸深川から結びの地大垣までの道中すべてをアップしてきた。これで一区切りだと思つたのだが、目を追うごとにこのブログを見てくれる人が多くなり、同年九月にはアクセス回数が一万回以上になつてしまった。有名人ならともかく普通のブログでこんなに多くのアクセスがあるとは思



細道最後の句碑「蛤のふたみに別 行秋ぞ」

大垣むすびの地の芭蕉像



いもよらず、「奥の細道」芭蕉のキーワー

ドの大きさに驚いた。しかしブログとは新聞のようなもので、新しい記事がどんどん積み重なっていくので以前のもものは忘れ去られてしまう。それでは折角の紀行文が生きないので目次を付けてホームページ形式にしようと考え、日立社友クラブの茨城支部のHPの会に入会した。香川講師をはじめ諸先輩たちのアドバイスを受けながら悪戦苦闘した結果、平成二十一年九月に「イバイチの奥の細道漫遊紀行」という名でホームページとしてアップできた。

「イバイチ」とはブログの時のペンネームを「茨城一郎」にしたのでその略称を表題の頭に入れることにしたのである。ホームページ「イバイチの奥の細道漫遊紀行」は、一年後の平成二十二年九月に芭蕉の故郷である伊賀上野、墓所のある義仲寺の章を付け加えて完成した。目次があるのでどの章からでも見ることが出来る。今年(平成二十三年)は平成十三年十月に初めて奥の細道をたどる旅に足を踏み入れてから十年目の区切りになる。

昨年から新たに他の旅紀行のページも始めたので、それを含めて更に充実させて行きたい。

横須賀 元也氏 連絡先

T 310-0841 水戸市酒門町 5034-2
電話 029-232-0480

メール:

skd4ko-8ma@violet.plala.or.jp

ホームページ:

http://www7.plala.or.jp/ibaichi/

同好会行事に参加して



第 49 回研修会 海上自衛隊横須賀基地と記念艦「三笠」見学 梅村 和男

昔、田浦工場の大先輩から見に来いと言われていた記念艦「三笠」見学会に喜んで参加した。何を見、何を学ぶか、先輩の宿題を解くための旅になった。

記念艦では日本海海戦の輝ける勝利や歴史背景、艦装備、戦術、東郷司令官の指揮ぶり等の展示を見た。

ここでは危機直面に際しあるべき指導者の姿を考えた。軍港めぐりでは、イーギス艦、ジョージワシントン空母、各種潜水艦等を運良く見られた。この危険物の取扱を間違えぬよう監視するのが国民の責務と感ずる。米海軍と海上自衛隊に挟まれた一角に田浦工場が在る。かすれた日立印の建物が見えた時、先輩のメッセージは「難山は三笠の心で登れ」であったろうと思った。昼食は「海軍カレー」だ。脚気の原因説で、独医学の陸軍森鷗外の黴菌説と英医学の海軍高木兼寛のビタミン説が戦い、その結果海軍カレーが生まれたそう。説を曲げない鷗外のため陸軍は多数の死者を出した。今の日本の頭脳集団の図式そのまま、戒めるべし。日本の歴史と自分の過ぎし日を見た。研修会に感謝。

「勝田 PC」

伊藤 晃



勝田パソコン教室には早くから参加したのだが、はじめはワード、エクセルに多少の知識があった程度であったが、いまでは講師から提供されるいろいろなソフトを取り込んで使えるようになった。講師は取り上げる内容を会員の希望を聞いて決め、テキストのソフトをUSBメモリーに仕込んで

きて、それを会員に配布してから講義を始める。自分のUSBメモリーにプログラムを取り込んでそれを使って勉強し、家でおさらいするのが好都合であり、整理しておいてよい財産にしている。会員は20名ならずで毎回同じような顔ぶれで座席もほぼ決まっており、まことにパソコン仲間の気分で勉強できるのが楽しい。会員の中で個人のパソコンのハードディスクのCとDの分割がうまくいかないと言う問題などでは、実際にそのパソコンを会場に持ち込んで、講師が説明しながら問題を解決するなどは、実に良い効果的な実習教育であると思う。



「料理教室」

松山 正昭

会社勤めが終わり日々の目標を見失っていた時に「社友クラブ」への入会案内を戴きました。「社友クラブ=同好会」への入会は良いにしてもその中で何を

選ぶのか？ 悩みましたが人間の根源的要求である「食欲=食事」に着目して「料理教室」を選ばせて頂きました。しかし永い間料理は“据え膳”で戴くだけでしたので自分にできるのかな？ とも心配しましたが勇気を出して参加させて戴くことにしました。

料理教室では先生の指導宜しきを得て食材が調理され、色・姿が段々と変化し「盛り付け」の状態になると良い匂いも漂い楽しくなってきます。この様に料理教室では毎回「調理する楽しさ」も味わっています。まだ「煮炊きの時間調整」や「調味料の量加減」は自分の判断ではできませんが今後追々と勉強していくつもりです。昔から「医・食同源」とも言われている様ですが・・・、これは健康を維持するための“食事の大切さ”を言った言葉ですが心に浸みる今日此の頃です。

現在は受け身的ですが今後は「料理の選択」から「食材選び」がしっかりとできるように頑張りたいと思っています。

支部からの お知らせ

理事会・茨城支部役員会報告

* 第 60-4 回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成 23 年 9 月 1 日(木)
2. 議事
 - ・入会員の件
役員・理事 5 名が退任された。
満 65 歳到達者(入会有資格者)92 名全員が入会を許可され、会員数は 5,127 名となった。
 - ・第 61 回日立社友クラブ総会の件：10 月 7 日(金)
ホテルニューオータニで実施。
長寿祝：白寿：4 名 米寿：61 名 喜寿：307 名

* 第 23-5 回 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成 23 年 9 月 13 日(火)
2. 議事
 - ・新入会員審議
新入会員 3 名の審議が行われ、入会承認された。
9 月 13 日現在で茨支部会員数は 1,079 名となった。
 - ・支部・同好会活動拠点について
これまでの拠点であった東暁館別館が復旧不能となった為、新たな拠点を探しています。今のとこ

ろ、旧日立木材地所(株)2 階海側の一室を借りることで詳細を詰めています。ご迷惑をお掛けしていますが、今しばらくお待ち願います。

* 年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知致しておりますので、ご確認の上納入下さるようお願い致します。

訃 報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

上野 定寧	平成 23 年 7 月 14 日	享年 73 歳
三井 裕光	平成 23 年 7 月 26 日	享年 74 歳
小沼 栄	平成 23 年 8 月 8 日	享年 86 歳
幸田 智一	平成 23 年 9 月 13 日	享年 72 歳
吉田 俊一	平成 23 年 9 月 20 日	享年 72 歳

編集後記 「盆栽の流行や評価は世相を反映する」との盆栽愛好家の黒梅さん。奥が深い盆栽に我が子同様に愛情を注ぐ姿に感銘です。「奥の細道 句碑めぐり」を思い立ってから 10 年間、その間に見聞されたすばらしい多くの感動が「イバイチさん」のホームページに満ち溢れています。3,305 人目(9/30 付けアクセス人数)でした。皆さんも是非一読を。 藤森 好則

同好会の行事ご案内(11月～1月)

1. 第50回研修会

[電源開発(株)奥清津発電所と矢木沢ダム他見学]

研修会第50回と日立水力100周年を記念して、電源開発(株)奥清津発電所と矢木沢ダム他見学の一泊研修を行います。皆様の参加をお待ち致します。

- ・開催日：平成23年11月10日(木)～11日(金)
- ・集合場所：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前)
- ・発車時刻：11月10日 7:00

JR上り6:55着、下り6:52着を待って出発

- ・宿泊：湯の小屋温泉 洞元荘(みなかみ町)
- ・帰着：11月11日大甕駅前18:00頃の予定
- ・会費：20,000円予定(バス・宿泊・昼食代他)
- ・募集人員：先着35名、申込締切：10月25日(火)
- ・申込先：小口伊佐男 Tel/Fax: 0294-37-3048

E-mail: isao_oguchi@lake.ocn.ne.jp

2. 第47回歩こう会

[鮭の遡上と日立北海岸コース]

紅葉の十王川を遡る鮭を見て、鶴の岬・伊師浜から天然記念物イブキ樹叢を経て、高萩海岸まで歩く計画です。皆様のご参加をお待ち致します。

- ・開催日：平成23年11月22日(火)
雨天延期12月7日(水)
- ・集合：常磐線十王駅(十王駅東側)
10:00スタート
- ・コース：十王駅→十王川→鶴の岬公園(昼食)→伊師浜海岸→イブキ樹叢→高萩駅
14:30解散(11km平坦地)
- ・持参する物：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：平成23年11月15日(火)
- ・申込先：須江二郎 Tel/Fax: 0294-53-5902
E-mail: j-sue@nifty.com

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考
		11月	12月	1月			
野鳥自然観察グループ	本宮公夫 0294-42-3576 motokimi@peach.ocn.ne.jp	21(月)			小山ダム	9:00～12:00	参加費:¥200/回 原則雨天中止
			19(月)		潤沼 栗原		
				16(月)			
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-5860-9713 sukegawa@tkw-eng.co.jp	休み	14(水) 大会	休み	丸市本店	9:30～	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区 七海清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	17(木)	15(木)	19(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	14(月)	12(月)	10(火)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回 12月:忘年パーティ
		28(月)		23(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 Perroygato4923@net1.jway.ne.jp	2、9、 16(水)	7、14、 21(水)	11、18、 25(水)	会瀬体育館	9:00～12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	7(月)	5(月)	9(月)	大久保交流センター	13:00～16:30	参加費:¥200/回 昼食なし
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	4(金)	2(金)	6(金)	大久保交流センター	9:00～12:00	参加費:¥100/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村進 0294-52-5525 ssm2332@hb.tp1.jp	1(火)	6(火)	17(火)	場所後報	10:00～15:00	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	8(火)	13(火)	10(火)	会瀬青少年の家	10:00～15:00	参加費:¥1400/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	22(火)	27(火)	24(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費:¥700/回
	MM研 藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	25(金)	23(金)	27(金)	大久保交流センター	13:00～16:30	参加費:¥500/回 昼食なし
	Acrobat X勉強会 安田出 0294-37-1959	16(水)	14(水)	18(水)	会瀬青少年の家	10:00～15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
Flash CS3勉強会 yasuda@i.email.ne.jp	24(木)	22(木)	26(木)	会瀬青少年の家	10:00～15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む	

*諸事情により極楽サロン並びにシニアPCが終了になりました。長い間のご支援ありがとうございます。

第7回デジカメ写真展のご案内

「デジカメクラブ、野鳥・自然観察グループ、写真五七五グループ」合同の写真展を開催します。ご家族ご友人皆様のご来場をお待ちしています。

- ・日時：11月30日(水)～12月4日(日)
9:00～17:00(最終日は15:00)
- ・場所：多賀市民プラザ1階ギャラリー

「茨ネット」メール会員に加入しませんか!

1. 同好会案内(変更も含めて)/活動報告、支部会員からの情報などをいち早く知ることができます。
2. 加入方法は、支部HPの「支部からのお知らせ」→「支部会員メールシステム」→「茨ネットメールへの加入勧誘」参照
3. メールアドレスを変更した場合は、管理担当滝川 <takika-y@mrh.biglobe.ne.jp>まで連絡下さい。